

2024年3月28日

au 損害保険株式会社

au 損保、自転車利用時のヘルメット着用率を調査

すべての年齢における自転車利用時のヘルメット着用努力義務化から1年
努力義務化の認知度は85.5%に上昇したが、着用率は21.6%に留まる

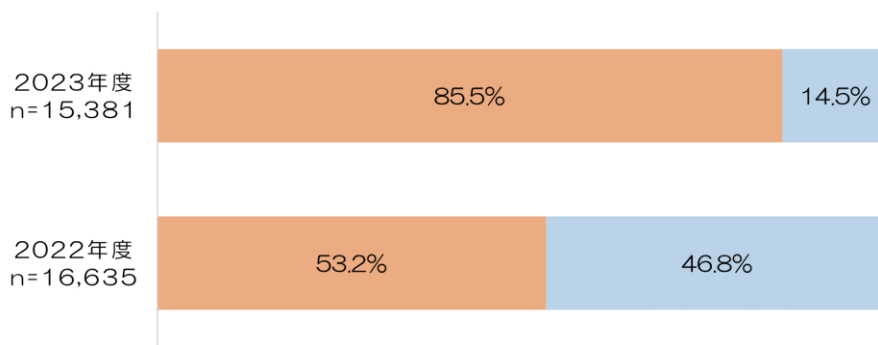
改正道路交通法の施行により2023年4月1日から年齢を問わず自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されましたが、同法施行から1年を機に、au 損害保険株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長:山田 隆章、以下、au 損保）は、全国の自転車利用者の20歳から69歳の男女15,381名を対象に、自転車利用時のヘルメットに関する調査を実施しました。

(1) 自転車利用時のヘルメット着用努力義務化の認知度は85.5%

年齢を問わず自転車利用時のヘルメット着用が努力義務となったことを知っているか尋ねたところ、「知っていた」と回答した方は85.5%（13,147名）で、努力義務化施行直前に実施した昨年の調査に比べ30pt以上上昇しました。

Q.改正道路交通法（2023年4月1日に施行）により、
「年齢に関わらず自転車利用時に乗車用ヘルメット着用が努力義務」
となっていることを、ご存知ですか？

■知っていた ■知らなかった

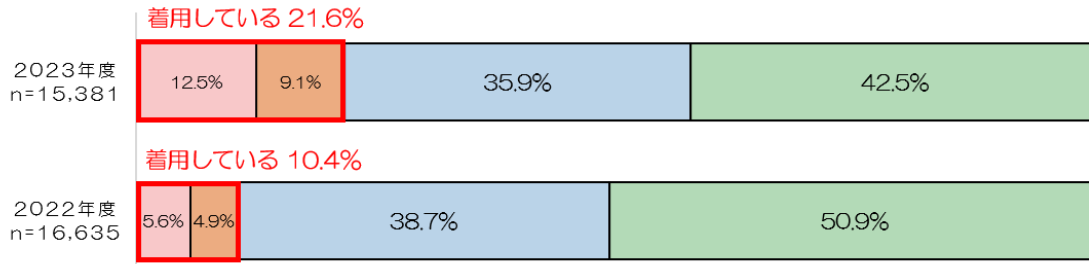


(2) 自転車利用時のヘルメットの着用率は21.6%

自転車利用時にヘルメットを着用しているかを尋ねたところ、「いつも着用している」と「ときどき着用している」と回答した方を合わせると21.6%となり、昨年の調査結果に比べ11.2pt上昇しましたが、約8割の方が未着用であることが判明しました。

Q.あなたは自転車利用時にヘルメットを着用していますか？

いつも着用している ときどき着用している 着用していない 所有していない



(3) 都道府県別の着用率、トップは長崎県

都道府県別の着用率では長崎県が48.7%（前年度比+24.7pt）でトップ、続いて長野県の37.1%（同+15.6pt）でした。なお、長崎県は前年度からの着用率アップも全国トップでした。

順位	都道府県名	2023年度	2022年度	前年度比
		着用率	着用率	
1	長崎県	48.7%	24.0%	+24.7pt
2	長野県	37.1%	21.5%	+15.6pt
3	愛媛県	36.2%	19.7%	+16.5pt
4	島根県	35.9%	12.7%	+23.2pt
5	群馬県	35.3%	22.3%	+13.0pt
6	山梨県	34.8%	11.1%	+23.7pt
7	山口県	34.1%	12.6%	+21.5pt
8	大分県	33.7%	18.0%	+15.7pt
9	茨城県	29.6%	14.3%	+15.3pt
10	岐阜県	29.2%	16.7%	+12.5pt
11	富山県	28.7%	10.2%	+18.5pt
	熊本県	28.7%	21.0%	+7.7pt
13	静岡県	27.9%	13.9%	+14.0pt
14	石川県	27.6%	12.7%	+14.9pt
15	福島県	27.5%	13.9%	+13.6pt
16	徳島県	26.7%	10.7%	+16.0pt

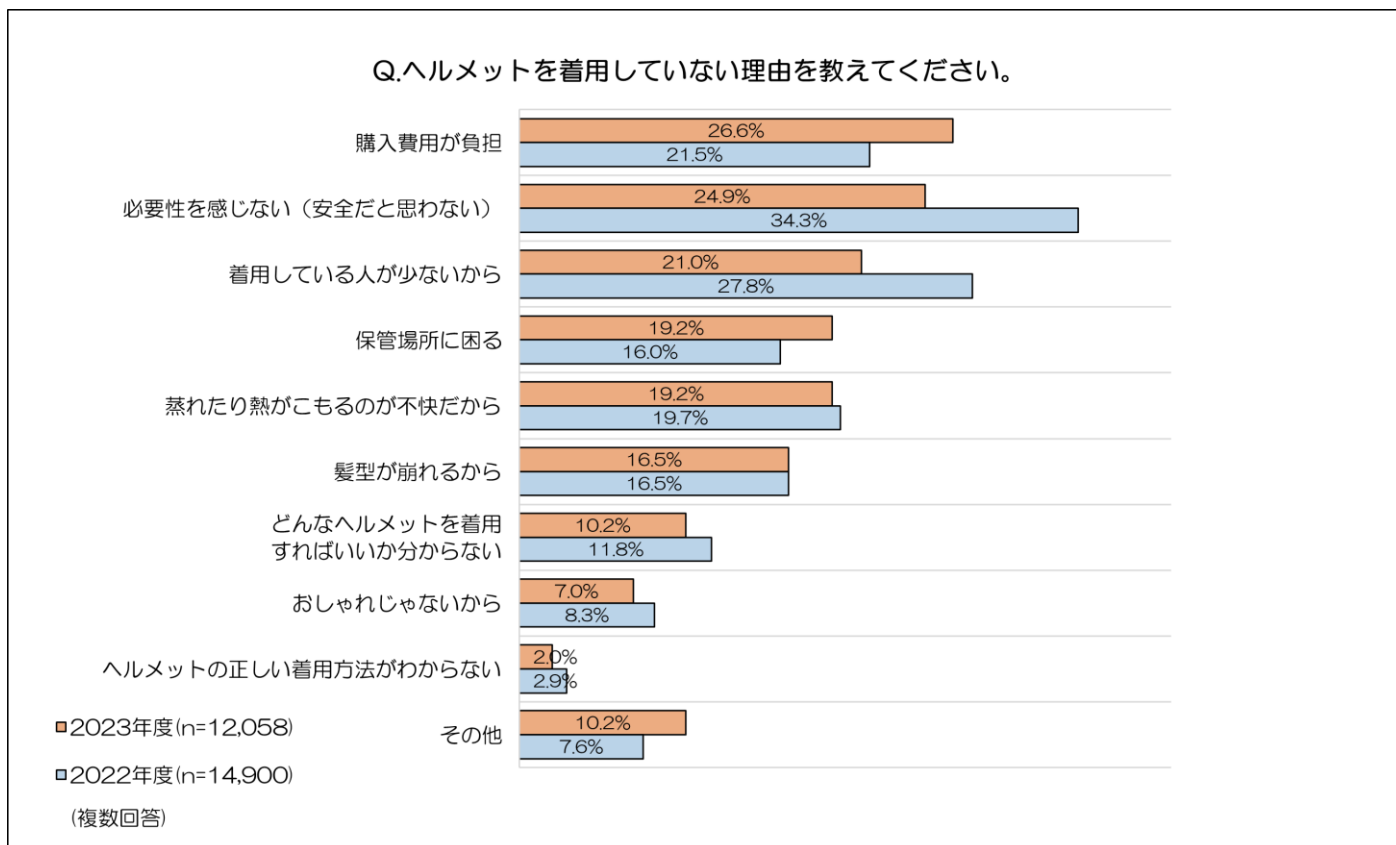
順位	都道府県名	2023年度	2022年度	前年度比
		着用率	着用率	
25	宮崎県	24.2%	9.6%	+14.6pt
26	山形県	24.0%	15.6%	+8.4pt
27	新潟県	22.9%	12.6%	+10.3pt
28	福井県	22.8%	11.4%	+11.4pt
29	鳥取県	22.4%	14.7%	+7.7pt
30	岩手県	22.2%	11.3%	+10.9pt
31	岡山県	21.9%	8.9%	+13.0pt
32	佐賀県	21.4%	9.1%	+12.3pt
33	宮城県	21.2%	12.8%	+8.4pt
34	北海道	21.0%	8.8%	+12.2pt
35	京都府	20.8%	7.9%	+12.9pt
36	神奈川県	20.7%	8.4%	+12.3pt
	秋田県	20.7%	13.3%	+7.4pt
38	和歌山県	19.5%	7.7%	+11.8pt
39	香川県	18.4%	8.7%	+9.7pt
40	東京都	18.3%	9.4%	+8.9pt

17	鹿児島県	26.4%	11.2%	+15.2pt
18	三重県	26.2%	14.8%	+11.4pt
	青森県	26.2%	13.2%	+13.0pt
20	栃木県	26.1%	16.1%	+10.0pt
21	滋賀県	25.9%	11.8%	+14.1pt
22	愛知県	25.6%	14.9%	+10.7pt
23	福岡県	25.4%	7.6%	+17.8pt
24	沖縄県	25.0%	13.7%	+11.3pt

	埼玉県	18.3%	7.5%	+10.8pt
42	千葉県	17.9%	8.1%	+9.8pt
43	高知県	17.8%	3.0%	+14.8pt
44	兵庫県	17.6%	7.4%	+10.2pt
45	広島県	16.1%	8.5%	+7.6pt
	奈良県	16.1%	6.7%	+9.4pt
47	大阪府	11.7%	5.5%	+6.2pt

(4) 着用していない理由は「購入費用が負担」が最多

「着用していない」「ヘルメットを所有していない」と回答した方に、その理由を尋ねたところ、「購入費用が負担」と答えた人が26.6%（3,205名）と最多で、ヘルメット着用には費用がハードルとなっている一方、前年度トップの理由だった「必要性を感じない」と答えた人は24.9%と前年度比で約10pt減少しました。



今回の調査では、自転車利用時のヘルメット着用努力義務化の認知度は85.5%と前年度比で30ptアップし、またヘルメットの着用率は21.6%という結果となり、ヘルメット着用に関し認知は進んでいるものの、まだ多くの自転車利用者がヘルメットを着用していないことがわかりました。

警察庁によると、自転車利用中の交通事故で亡くなられた方は、約6割が頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメット非着用時の致死率は着用時と比べて約2.1倍高くなると言われています（注）自転車事故死者数を減らすためには、引き続きヘルメット着用の必要性を理解いただくことが重要と考えられます。

au 損保は、これからも身近な保険・サービスの提供等を通じて、皆さまのライフスタイルに寄り添い、安心・安全な毎日をサポートしてまいります。

以上

【調査概要】 au 損保調べ

調査方法：インターネットによるアンケート

対象者：自転車利用者

対象地域：日本全国

回答者数：15,381 名（人口比率に配慮し選定）

回答者年齢：20 歳から 69 歳

実施時期：2024 年 1 月 19 日～2024 年 1 月 21 日

※本調査では小数点第 2 位以下を四捨五入しています。

(注) 出典：「頭部の保護が重要です～自転車用ヘルメットと頭部保護帽～」(警察庁)

<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/toubuhogo.html>